

施策番号	2002		
施策名	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり		
概要	歩行者と公共交通を最優先とする快適な道路空間を構築するとともに、通過交通の抑制、物流対策、駐車場施策、パークアンドライドなどの適切な自動車利用の抑制策を推進する。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関係する 主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

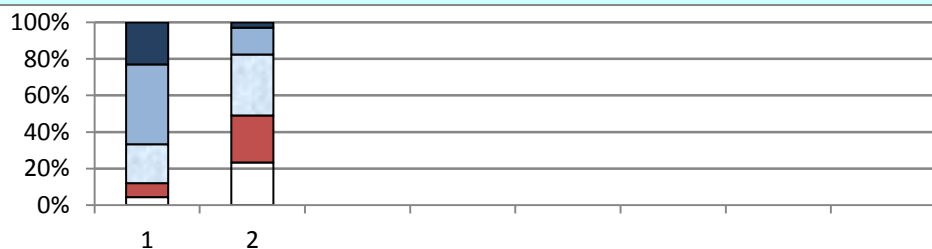
1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	パークアンドライドの利用者満足度(%)	a	a	98.0	93.2	98.0	95.1%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1	歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。	123	234	114	41	23	535	b
		23.0%	43.7%	21.3%	7.7%	4.3%		
2	まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。	15	77	175	135	122	524	d
		2.9%	14.7%	33.4%	25.8%	23.3%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					24 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						24 年度	B
(原因分析) ・客観指標評価については、「パークアンドライドの利用者満足度」は、パークアンドライド駐車場として、新たにタイムズ鴨川西ランプ、タイムズ上鳥羽ランプを開設したものの、数値は23年度から低下し、目標数値を達成できなかったが、93%の方から「満足」との評価をいただいている。 ・市民生活実感評価については、「まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている」との設問において、約5割が否定的な回答をしている一方で、「歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている」という設問においては、6割以上が肯定的な回答をしている。このことから「歩くまち・京都」の取組については一定浸透してきていると考えられる。						23 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	華やぎ支援事業	417,767	395,100	良い	行財政局
2	神宮道歩行者専用化推進プロジェクト	—	9,854	—	総合企画局
3	付置義務駐車場の弾力的な活用による自動二輪車駐車場確保に関する検討業務	—	12,058	—	都市計画局
4	放置自動車対策	79,229	63,041	かなり良い	建設局
5	看板等路上物件適正化事業	51,408	58,939	悪い	建設局
6	京都市山科駅自転車等駐車場	53,223	53,823	—	建設局
7	京都市御池駐車場	197,121	181,309	—	建設局
8	京都市出町駐車場	60,139	89,801	—	建設局
9	市営駐車場	202,121	219,853	—	建設局
10	京都市鴨東駐車場	1,256	3,665	—	建設局
11	通行支障柱移設	85,429	100,793	—	建設局
12	交通安全施設等整備事業	448,204	688,900	—	建設局
13	四条通歩道拡幅事業	—	366,320	—	建設局
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成25年度は、四条通の歩道拡幅と公共交通優先化に向けた取組を実施するとともに、都心細街路における安全でゆとりのある歩行者空間の確保に向けた取組を進める。
・また、パークアンドライドの更なる拡充、定着化やロードプライシングの検討をはじめ、自動車利用の抑制策を推進するなど、ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて、都市計画をはじめ、環境、福祉、教育、景観、産業などの幅広い分野の政策と融合した取組を進める。

施策名	2002	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり				
指標名	パークアンドライドの利用者満足度(%)					
担当課	歩くまち京都推進室		連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3		
1 指標の説明						
パークアンドライドの利用者アンケート調査における「満足している」及び「どちらかといえば満足している」とする回答の割合						
2 指標の意味						
パークアンドライドの利用者の満足度を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	98.0	93.2	4.8ポイント減	98.0	過去最高値（平成23年度）	95.1%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
パークアンドライド利用者アンケート調査において「満足している」及び「どちらかといえば満足している」と回答した割合について、単年度目標値の達成度が			6 基準説明			
a：100%以上			「満足している」及び「どちらかといえば満足している」と回答した割合について、単年度目標値の達成度が100%以上の場合を最高のaとし、以下20%刻みで設定した。			
b：80%以上100%未満			＜参考＞			
c：60%以上80%未満			17年度：96.0% 18年度：96.7%			
d：40%以上60%未満			19年度：97.6% 20年度：96.1%			
e：40%未満			21年度：97.5% 22年度：86.6%			
7 評価結果						
23		24		25		
a		a		b		